

おくり鳩

白い鳩は
古来より

神仏の使い

放鳩の儀は、古くは室町時代より野辺の送りに亡き人の遺徳を偲んで白い鳩を放したものと云われております。

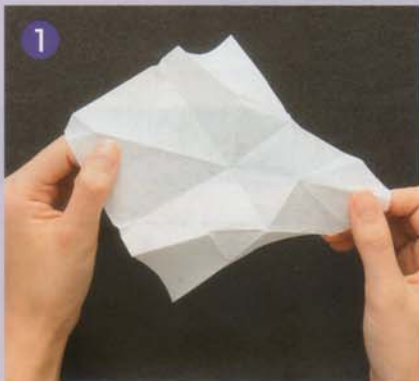
天空に飛び立つ美しい鳩の姿に、故人の霊の安らかなことを願い祈り捧げる儀式として、出棺時に空に向かって数十羽の白い鳩を放ち、故人の魂が天空に昇っていくように示しております。

『おくり鳩』は、放鳩の儀を伝承し、日本人の真心のこもった葬送として、故人を偲び、遺された人たちの深い悲しみが感謝の気持ちと心の絆へと生まれ変わるようお願いがこめられています。

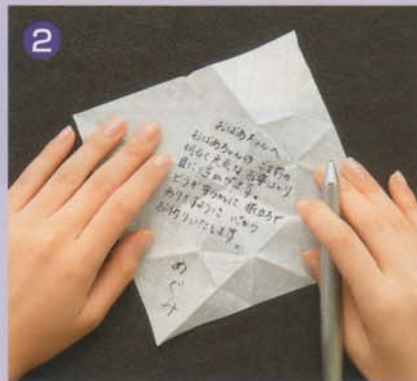


「ありがとう」や「ごめんね」
本当は言いたかった気持ちをおくり鳩に託してみませんか。
悲しみがやがて、
感謝と心の絆に変わりますように…

形状記憶加工でパッと開いてサッと戻せる お子様からお年寄りまで簡単に使えます



1 おくり鳩を広げます。



2 故人様へのメッセージをおくり鳩に書いたあと、元の鳩の形に戻します。



3 係員の誘導に従い、皆様の手で納棺していただき、故人様をお慰めください。

メッセージを中心より8cm四方以内にお書きいただければ、おくり鳩を戻した時に完全に折り込まれるので、他の会葬者様へ見えることがありません。